

CUTE SYMPOSIUM

コンピュータ化学

広範な
ナノエレクトロニクス
分野の最先端の研究に
触れることのできる
貴重な機会です。

三重大学工学部
11番教室

2013年
3月7日(木)

多数の皆様にご参加いただければ幸いです。
13:00~15:00

コンピュータ化学に関するCUTEシンポジウムを開催します。招待講演では、コンピュータ化学による空間線量計測データの解析、核融合反応に関する量子化学計算手法の開発について講演していただきます。

招待講演者 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 講師 八木徹
九州大学 稲森フロンティアセンター 特任助教 石元孝佳

講演内容

(1) コンピュータ化学の最近の話題

三重大学 大学院工学研究科 助教 大西 拓 15分

(2) ガイガーカウンタを用いた日食の観測

江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 講師 八木徹 【招待講演】 45分

日食を観測するに当たっては天候の影響が非常に大きい。少ない機会を有効に活用し、天候に恵まれないときでも日食の片鱗を観測することが出来ないだろうか。このような要望に応える方法として、日食をガイガーカウンタで観測することを考察する。2012年5月21日、日本の広い地域において金環食が観測された。この際に空間線量率の変化を測定した結果について報告する。

(3) ミュオン触媒核融合の反応機構解明に向けた計算手法の開発と応用

九州大学 稲森フロンティアセンター 特任助教 石元孝佳 【招待講演】 60分

近年、ミュオンの“重い電子”としての振る舞いに着目したミュオン触媒核融合の研究が進められている。本講演では、量子化学計算に基づいたミュオンに対する新しい方法論の紹介と、ミュオン触媒核融合の反応過程で見られるミュオン化合物の安定構造や反応性について報告する。